

第2章 案内誘導の考え方

2-1 水戸市におけるサインの考え方

2-1-1 水戸市におけるサインの考え方 …… 5

2-2 サインシステム

2-2-1 歩行者系サインサインシステム …… 6

2-2-2 自動車系サインサインシステム …… 7

2-1 水戸市におけるサインの考え方

2-1-1 水戸市におけるサインの考え方

「水戸市サイン計画」を基に、案内・誘導及びデザインの考え方を以下のように設定する。本サインマニュアルはこれらの考え方に基づいて構成される。

対象サイン	案内・誘導の考え方	デザインの考え方
<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者系サイン <ul style="list-style-type: none"> ・駅前サイン ・主要地点サイン ・一般分岐点サイン ・施設誘導サイン ・施設記名サイン ・通り名称サイン 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅、バス停などの行動の起点となる場所や、交差点等の分岐点となる場所に歩行者の量や、誘導対象施設の分布状況に応じて効果的に配置する。 ●誘導対象施設に対し、主要な歩行者動線上からの誘導経路を確実に誘導する。 ●移動において目印となり、また街の資源を生かす目的で、演出性に考慮した通り名称サインを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の顕示性を保ちながら、景観になじむデザインとし、必要以上に大型のものは避けた。 ●案内サインの地図は、視認性に優れた色彩とした。 ●全体に統一性をもち、かつ市の独自性が感じられるデザインとし、市のアイデンティティの表現を図った。
<ul style="list-style-type: none"> ■自動車系サイン <ul style="list-style-type: none"> ・市境記名サイン ・施設誘導サイン 	<ul style="list-style-type: none"> ■原則として国県道を主要な軸線ととらえ、段階的な目的地までの案内・誘導とする。 ■施設に優先順位を設け、それに応じた案内・誘導を行う。 ■広範囲に点在する施設への誘導は、施設の性格に応じ、どの地点から誘導を行うかに配慮する。 ■市内で最も誘導すべき施設への案内は、市内及び近隣のI.C.出口を起点として位置付ける。 ■主要な国県道上の市境点において水戸市の記名表示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設誘導サインは、原則として視認性における安全性を優先し、形態は機能性を追及、既存サインとの整合にも配慮されたデザインとした。 ■市境における市記名サインは一定のシンボル性をもたせた。
<p>対象となる全てのサイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的なイメージの連続性を保てる配置を考慮した案内・誘導を行う。 ・サインの乱立を防ぐ配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他種の表示物と共架を意識した構造の検討を行った。 ・サインが一定の水準以上の機能とデザインを保持するために必要な要素や、市のサインとして統一性・共通性を持たせる上で必要な要素を整理した。 ・無駄のない効率的な表示情報の提供を行った。

2-2 サインシステム

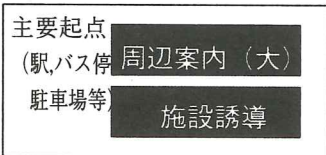
2-2-1 歩行者系サインシステム

サインシステムとは、まちなかでの行動が多様化する歩行者に対応するために、サインが提供する情報と、その設置場所すなわち配置との関係を整理したものである。

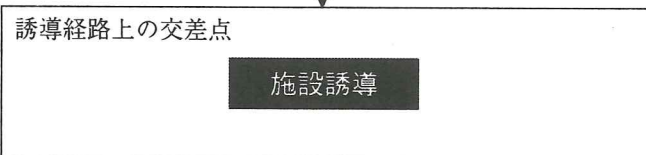
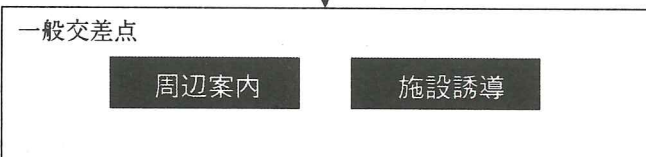
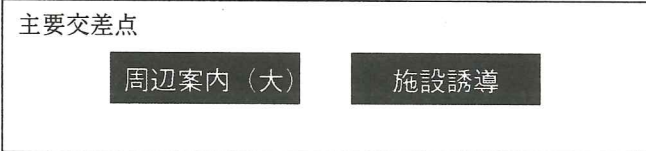
水戸市における歩行者系サインシステムは、確実な施設への誘導を主題に、行動の多様化に対応する案内・誘導を目指すものとして位置付ける。その際、歩行者の行動範囲を起点、分岐点（準起点）、目的地（定点）の3段階に分類すると、それぞれに必要な情報と効果的な配置の関係が次のように整理される。

●情報の考え方

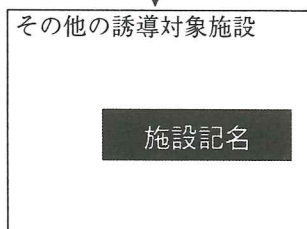
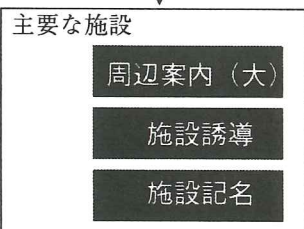
■起点



■分岐点 (準起点)

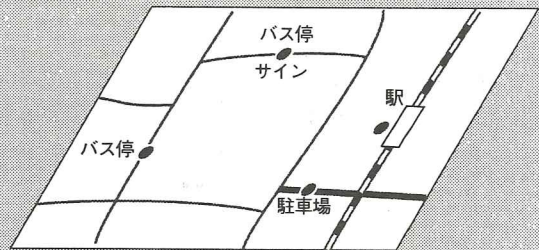


■目的地（定点）

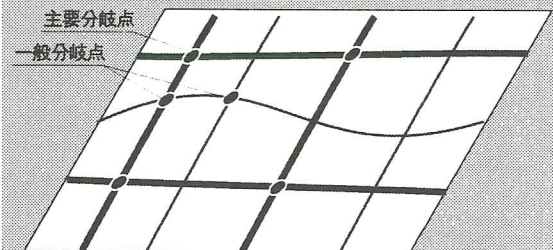


●配置の考え方

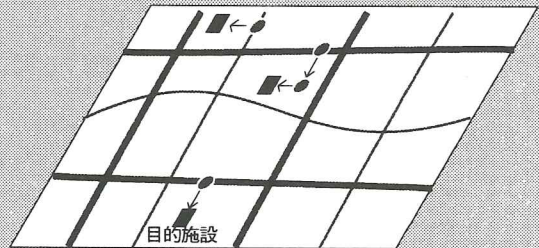
行動の起点となる場所に配置する。
(駅、主要バス停、駐車場前等)



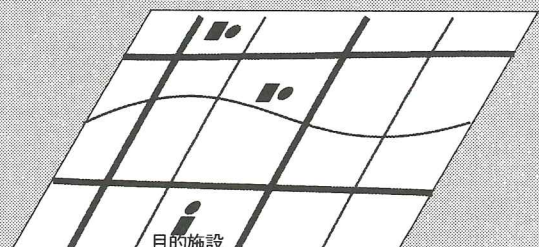
幹線道路上の交差点や、特に歩行者の多い交差点に配置する。



幹線道路からの誘導を受け、施設までの誘導経路上の交差点に配置する。



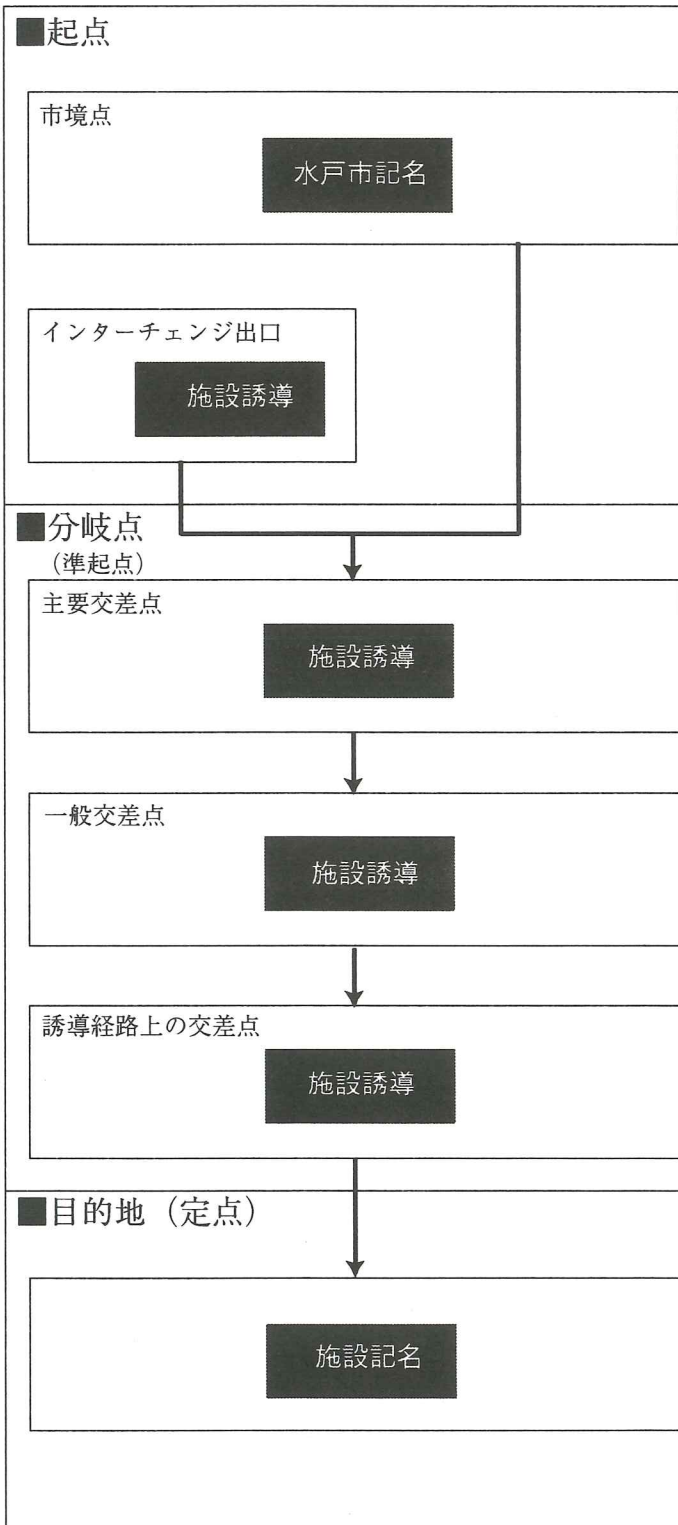
目的となる施設前に配置する。



2-2-2 自動車系サインシステム

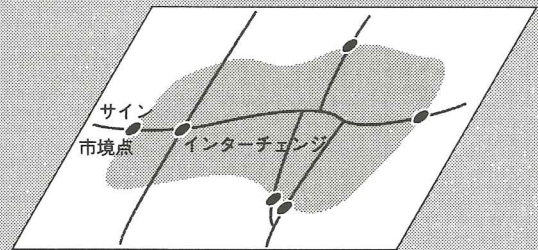
自動車系サインシステムは、施設への誘導を主体とし、歩行者系のシステムと同様に、起点、分岐点（準起点）、目的地（定点）の3段階に分類すると、情報と配置の関係が次のように整理される。

●情報の考え方

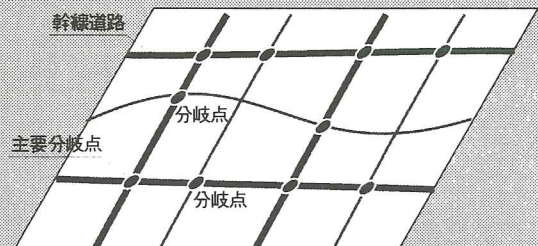


●配置の考え方

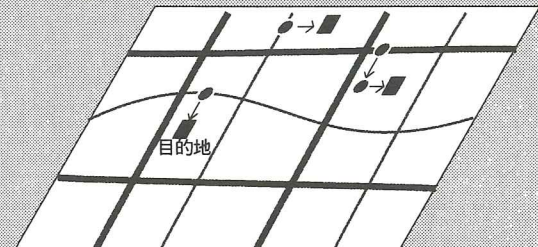
主要な幹線道路の市境点を対象に水戸市記名表示を行う。インターチェンジ出口付近では主要な施設の誘導サインを配置する。



幹線道路において誘導表示が必要と思われる交差点に配置する。



幹線道路からの誘導を受け、施設までの誘導経路上の交差点に配置する。



目的となる施設入口付近に配置する。

